



阿嘉小中学校  
図書館発行  
2025年6月3日

梅雨に入り、ジメジメする日が多くなりました。雨がふって外で遊べない日はぜひ図書館へ！もちろん晴れているときも大歓迎ですよ！

6月は「お父さん」と「戦争と平和」を特集します。6月には父の日があります。日頃の感謝の気持ちを伝えられるといいですね♪

また、6月23日は慰霊の日。沖縄での戦争がほぼ終結した日です。今月は平和月間として平和や命の尊さについて考えましょう。

## おしゃせ

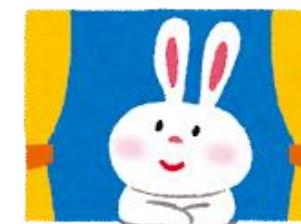
6月は平和月間です。

文芸委員さんたちが戦争についてのパネル掲示を行ってくれています。

図書館にきてチェックしてみてくださいね。

指定図書の入荷はまもなくです。もうしばらくお待ちください。

毎月第3日曜日は、  
ファミリー読書の日





## 『マンガで伝える沖縄戦』

このマンガは、戦後75年の節目に琉球新報の副読紙・こども新聞「りゅう PON!」で1年間連載したものです。

沖縄戦から75年の月日が過ぎ、戦争の事を語れる人は年々少なくなっています。戦争を知らない私たちや、子どもたちに戦争体験者の話の話をどうやつたらうまく伝えられるか考えた時、マンガで伝えるという方法を思いつきました。

「あとがき」より



## 『えいっ』

「えいっ」というまほうのかけ声で、信号を青信号に変えてみせるお父さん。

「お父さんってすごい！」とクマの子は尊敬のまなざし。

でも、色々なものに「えいっ」とまほうを

かけていくうち、クマの子も何か気づいたようです…。

## 『やくそく ぼくらはぜったい戦争しない』

ばあちゃんは、ぼくが中学生になったころから、ぼくを「にいちゃん」とよぶようになった。ばあちゃんの兄さんも、とうさんも、かあさんも、原爆症で死んだ。ぼくらは、ぜったい戦争をしない。子どもを殺したりしない。かなしい思い出をつくらない。やくそくする——。

生涯をかけて戦争の悲惨さと愚かさを訴え続けた作家、那須正幹が遺した一編の詩（原題：「ばあちゃんの詩」）から、この絵本が生まれました。戦後 80 年を迎える今、あらためて平和の意義を子どもたちに問いかけます。



## 『きはなんにもいわないの』

絵本評論家、広松由希子氏推薦！

Eテレ「てれび絵本」でも紹介された「父子名作絵本」が、ついに復刊！ 決してお母さんには出来ない、“お父さんならでは”的子どもとのふれあいが素敵。

お父さん、ぜひお子様に読み聞かせしてあげてください！